

2023 年 2 月 20 日

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会  
第 81 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録

1. 日時 2023 年 1 月 24 日 (火) 10:00-12:00
2. 場所: Web会議 (Webex)
3. 出席者: 岡本主査, 松原福主査, 田中幹事, 青井, 生駒, 石原, 工藤, 黒川, 小山, 佐藤, 田村, 仲田, 西村, 深田, 見上, 高橋 (目黒代理), 平井, 山本 (欠席: 中村, 目黒)  
(敬称略)
4. 配布資料

R3SC-81-1 人事案件 (今回なし)

R3SC-81-2 日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会  
第 80 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録 (案)

R3SC-81-3-1 「耐震安全の考え方の着手承認」について

R3SC-81-4-1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準: 20XX” (案)  
公衆審査意見対応案について

R3SC-81-4-2.1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準: 20XX” (案)  
公衆審査 東大 糸井達哉様ご意見への回答 (案)

R3SC-81-4-2.2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準: 20XX” (案)  
公衆審査のご意見を受けた標準への反映結果 (糸井様) (新旧対比表)

R3SC-81-4-3.1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準: 20XX” (案)  
公衆審査 落合兼寛様ご意見への回答 (案)

R3SC-81-4-3.2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準: 20XX” (案)  
公衆審査のご意見を受けた標準への反映結果 (落合様) (新旧対比表)

R3SC-81-4-4 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準: 20XX” (案) 完本版

R3SC-81-5-1 “廃止措置対象施設特性調査指針: 20XX (案)” の意見対応について

R3SC-81-5-2 “廃止措置対象施設特性調査指針: 20XX (案)” の意見取り纏め表

R3SC-81-5-3 “廃止措置対象施設特性調査指針: 20XX (案)” 修正前後比較表

R3SC-81-5-4 “廃止措置対象施設特性調査指針: 20XX (案)” 修正版 (本文のみ)

5. 議事

(1) 出席者確認 開始時点で 20 名の出席があり, 分科会は成立している。

(2) 【審議】人事案件 (今回なし)

(3) 【報告】「耐震安全の考え方の着手承認」について

前回分科会で承認済みであり, 前回の内容 (誤字等の修正あり) (配布資料 R3SC-81-3-1) で専門部会へ付議することが報告された。

(4) 【審議】「安全評価基準」公衆審査意見対応案について

「廃止措置安全評価基準」のパブコメ対応案を審議し, 本日の席上コメントを反映した上で

2023/2/9基盤応用・廃炉技術専門部会に上申することが決議された。席上コメントの内容は次のとおりである。

- 1) R3SC-81-4-1～R3SC-81-4-4に沿って、廃止措置安全評価基準のパブコメ（2名）の対応案の説明を行った。
  - 2) R3SC-81-4-1（説明用ppt）について、3. 原案への反映案 には箇条書きで修正箇所を記載する。
  - 3) 糸井氏、落合氏の両者に共通する図H. 2～図H. 6、図H. 9の注a)の記載は“内部要因、地震を含む外部要因によって発生する〇〇を考慮する。”とする。
  - 4) 糸井氏、落合氏の両者に共通する津波・洪水の図H. 10については、次のとおりとする。
    - ・フロー図は修正しない。“飛散性◇”、“飛散性核種の飛散□”の追記をしない。
    - ・反映案の“津波防護施設内”は“建屋内”のままに戻し、注b)において“建屋内とは津波防護を施した建屋をいう”と記載する。
    - ・注c)の“津波・洪水の被害を受けない”は末尾を“原則として考慮不要とする”とする。
  - 5) 落合様コメントの回答案として図H. 11を追加しているが削除する。図H. 2～図H. 10の注に“地震を含む外部要因によっては圧制する事象を考慮する。”を追記するのみでよい。
  - 6) 落合様コメントの回答案については、解説5. 10の新規記載において、“例えば、炉内構造物…”を追加し、コメントへの対応を受けた形とする。
  - 7) 廃止措置分科会としては、コメントを受けて、注をわかり易く説明し直すものであり、エディトリアルな修正の範囲と認識している。
  - 8) 1/25中に修正案を作成して、分科会委員に配布し、メールベースで確認いただくこととする。
  - 9) 上記の修正を行うことを条件に、2/9の専門部会で説明することが決議された。
- (5) 【審議】「廃止措置対象施設特性調査指針：20XX(案)」のコメント対応について  
R3SC-81-5-1～5-4を用いて、意見募集の対応について説明があり、次の意見について議論がなされた。
- 1) ケーブルに関する記載は実態に合わない内容であるので削除すべきであるというコメントがあったが、これについては、この標準は指針なので、「このようなやり方がある」を示すものであり、削除してしまうとこの様なやり方があることを示すことができなくなることからこのままとする。ただし、実態として行われていることを記載しないのは、「この様なやり方がある」を示すという観点では片手落ちになることから、実態に即した方法も併記することとした。
  - 2) 4. 4. 4a)における「また、廃止措置計画では、・・・、なお、使用済燃料の貯蔵施設から冷却水が大量に漏えいした場合・・・」については、内容的に本文とするのに必ずしも相応しいものではないので、解説に記載することにする。
  - 3) 運転中廃棄物の例については、内容的に本文とするのに必ずしも相応しいものではないので、解説に記載することにする。

(6) その他

— 次回分科会開催 2月20日（月）15:00-17:00

以上